

山梨県小中体連 会長あいさつ

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全国的に休校という状況からスタートし、「関東大会・全国大会」も相次いで中止となるなど、多くの中学生アスリートが影響を受けました。県内でも支部選手権および県選手権も中止せざるを得ない中、「何とか県総体だけは……」という思いで、各競技専門部の先生方や関係者の方々と検討を重ね、これまでとは違った形で開催しました。残念ながら、開催困難な競技専門部もありましたが、より多くの3年生に出場機会を与えようという考えのもと、関係者みんなで知恵を出し合い、開催の方向性を探ってきたいただいたことは事実であり、そんな思いにも応えることができた県総体ではなかったかと思えます。この県総体実施という経験が、秋の新人大会支部予選・県大会開催へとつなげることができました。これも、関係した先生方のご努力のおかげだと深く感謝申し上げます。

さて、令和3年度がスタートしましたが、今だに新型コロナウイルスは収束することなく、逆に変異株となって感染拡大している状況となっています。しかし、このような時だからこそ私たちは、子どもたちの未来のために、今後も小中体連関係者すべての力を結集させ、感染対策を徹底しながら各種大会や諸行事に全力で取り組んでいきたいと考えます。

競技面では、今年度全中大会関東ブロック開催の年であり、本県でも「サッカー」「バドミントン」が行われます。また、「柔道」と「ハンドボール」の関東大会も予定されております。研究面では、来年1月に山口県で行われる「日本中体連研究大会」で調査統計部が研究の成果を発表する予定です。また、県内6つの小中学校に研究推進指定を受けていただいております。

最後になりますが、今年度も引き続き新型コロナウイルス対応をしながらの大会運営及び研究推進となります。運動部活動を楽しみにしている中学生のために、小中体連事務局、各競技専門部、各支部が一致団結し、運動部活動のさらなる発展、令和3年度の諸行事成功に向けて努めていきたいと思えます。関係機関・関係団体等の皆様の、より一層の御支援、御協力をお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。